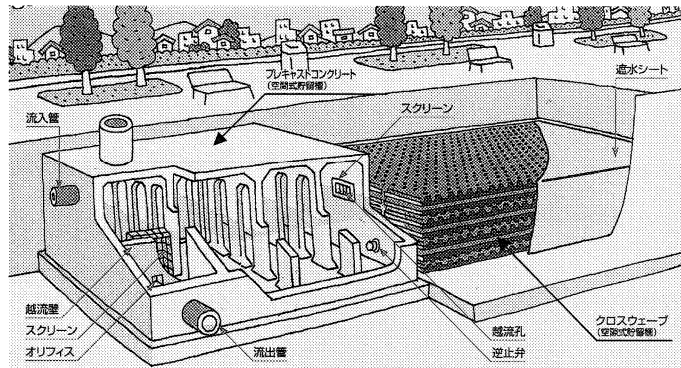


# 低コストでメンテも容易に 複合型雨水貯留システム開発

## 全国展開を目指す ホクコン



複合型となるダブルポートのイメージ図

ホクコン（福井市・小林志伸社長）は、プレキャストコンクリート製貯留槽（空室式）とプラスチック製貯留槽（空隙式）を組み合わせた複合型雨水貯留システム「ダブルポート」を積水化学との提携で開発した。空室式が持つ優れたメンテナンス性と空隙式の低コストという両方のメリットを生かしたシステムで、同社では同システムによる全国展開を目指す。

プレキャストコンクリート製は、貯留槽内部に人が出入り可能な広い空間ができるため、維持管理は容易である一方、基礎工事から部材の据え付け、インポートコンクリート

ート工事と、比較的施工に時間がかかる上、大型建設機械を投入しなければいけないとしている。プラスチック製は、施工が簡単でコストも安い

まいようになり、維持管理が簡単で、コストもプレキャストほどかからないとしている。

さらに、自治体や建設コンサルタントなどからの聞き取り調査から、空室式と空隙式の容量比率を自由に設定できるようにしており、汎用性を高めている。

ダブルポートは、雨水が最初に流れ込むのをプレキャスト製とし、数十年に1回という稀に発生する大雨に対応するために、プレキャスト製に隣接する形でプラスチック製を設置している。これにより、土砂などほプレキャスト製にしか流れ込

同社では、今年、度重なる台風の襲来や福井豪雨などの大雨で、官民ともに雨水対策への関心が高まっているとみて、積極的にシステムの販売を展開していきたいとしている。